

あとがき

富良野は自然豊かな土地とよく言われます。十勝岳連峰や芦別山群の大自然に囲まれ、また東京大学の演習林にも美林が広がっています。しかし、明治以来の急激な開発により市街地に緑はほとんど残っていません。その中で通称なまこ山と呼ばれる朝日が丘公園には市民の憩いの場を提供する貴重な緑があります。本誌はこのなまこ山と空知川を中心に富良野高校で展開されている野外授業の方法と成果をまとめたものです。また、富良野高校科学部は長年にわたり地域の自然を調査してきました。この研究論文も合わせて掲載しました。これらの成果をまとめることで、地域の自然に目を向け、自然環境と人間の生活はどう調和させるのかなど環境問題を考える一助になればと思います。なにより、このハンドブックを手に地域の自然を調べる学習活動が広がることになれば幸いです。

編集には次の方々のご協力を得ました。ここに名前を記し心から感謝申し上げます。

東京大学附属演習林 井口和信氏、富良野市博物館 杉浦重信氏・澤田 健氏、
森林生物研究所 有澤 浩氏 富良野市 西山 隆氏・石黒 誠氏（なまこ山の四季
の写真提供を含む）・富良野高校科学部員

編集担当 永盛 俊行・美土路 建

自然観察ハンドブック

～富良野の自然に学ぶ～

《非売品》

2004年3月●発行

北海道富良野高校●編集・発行

〒076-0011 富良野市末広町1-1

TEL (0167) 22-2174

株式会社 コダマ●印刷

なお本誌は平成15・16年度北海道教育委員会「夢と活力あふれる高校づくり」
推進事業北海道ネイチャーハイスクールの事業の一環として作成しました。

